

平成26年度 第1回新温泉町行財政改革推進委員会会議録（要旨）

[開催日時] 平成26年5月28日(水)午前9時35分～午前11時55分
[開催場所] 浜坂多目的集会施設 1階 会議室
[出席者] 中澤委員長、河越副委員長
熊本委員、竹中委員、仲山委員、橋本委員、藤田委員、
松岡委員、丸山委員、森田委員
行政 岡本町長、小西副町長
事務局 西村総務課長、中島係長、谷口主査
[傍聴者] ー

=====

[会議次第]

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 委員長・副委員長の選任
- 6 会議の公開について
- 7 第3次行財政改革大綱について（諮問）
- 8 議 事
 - (1) 第3次行財政改革大綱について
 - (2) 第2次行財政改革実施計画の平成25年度実績について
 - (3) 平成26年度 町政方針及び財政状況について
- 9 そ の 他
- 10 閉 会

[内 容]

1 開 会

2 委嘱状交付

(町長から各委員に委嘱状を交付)

3 あいさつ

町長：委員の皆様には、平素から行政全般にわたり、それぞれの立場でご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

先般、「日本創生会議」の発表した試算によると、2040年には全国約半数の自治体で若い女性の数が半減するというセンセーショナルな推計がなされており、わが町においても、その数が約70%減少、人口も1万人を大きく割り込むという報道がされていたが、行政としては、そのような課題に対して、今後ますます鋭意努力して取り組んでいきたいと思う。

本町の行財政改革については、第1次、第2次の行財政改革の推進により、これまで一定の成果を挙げてきたと評価しているが、行財政改革は、町が持続していくうえでの根幹をなすものと捉えており、今後も引き続き、行政サービスの質を維持しながら、効率的な行財政運営に努めたいと考えている。

本年度、第3次行財政改革大綱を策定するにあたり、委員の皆様には、今後の当委員会での審議をお願いし、よりよい町の未来に向けてご指導いただきたいと思う。

4 委員自己紹介

(各委員による自己紹介)

5 委員長・副委員長の選任

(委員長に中澤委員、副委員長に河越委員が就任)

6 会議の公開について

(会議は原則公開。会議録を作成し、総務課に備え付けるとともに、町のホームページにて公表)

7 第3次行財政改革大綱について（諮問）

(平成27年度から平成31年度までを推進期間とする第3次行財政改革大綱（素案）について、町長から委員会へ諮問)

(町長は、諮問の後に公務のため退席)

8 議 事

(1) 第3次行財政改革大綱について

(事務局説明。今回は概要説明のみとし、次回以降の委員会で審議予定)

(2) 第2次行財政改革実施計画の平成25年度実績について

(事務局説明)

・主な意見等

委員：A B C Dの評価区分による最終評価は、誰が行っているのか。

事務局：担当課がそれぞれの実施項目を評価している。

委員：自画自賛ということか。

事務局：評価については、まず担当課が自己評価を行い、それを町民の視点から判断してもらうために、当委員会において、皆さんの意見をいただくこととしている。

委員：病院事業については、厳しい経営状況が続いていると認識しているが、この実績報告の評価では、病院事業の関係は、ほぼA評価となっている。経営が住民ニーズに合っているなら、お客さんはもっと増えていると思うが。

これまでの委員会においても、病院経営について指摘をしてきたが、少しも届いていないように感じている。

事務局：実施計画に掲げる実施項目においては、それぞれの項目に計画目標を設定しており、その目標を達成すれば評価はAとなる。病院経営の改善という大きな括りでの評価ではない。

浜坂病院の経営が改善されたという評価ではなく、経営改善をめざす中で、まずは、病院改革プラン評価委員会において経営形態、事業規模を検討して、一定の方向性を結論付けたという進捗状況に対しての評価である。

委員：病院経営は非常に難しく、行財政改革の岩盤だと感じている。

(3) 平成26年度 町政方針及び財政状況について

(事務局説明)

・主な意見等

委員：平成26年度一般会計予算の歳出（目的別）区分にある商工費には、観光関係の予算も含まれているのか。

事務局：観光関係の予算も含まれている。

委員：商工費の予算が、対前年比11.7%の減額となっているが、その理由は何か。

事務局：商工費の平成25年度予算には、湯村温泉のバイナリー発電施設整備

事業の予算が約 8 千万円計上されていたため、対前年比で減額となっている。

委員：平成 26 年度公営企業会計の予算が、50.2%の増額となっているが、その理由は何か。

事務局：平成 26 年度予算から公営企業会計の制度が見直されており、特に、退職給付引当金の予算計上が義務化されたため、大幅な予算の増額となっている。

委員：隠れ債務の氷山の底が表面化したということか。

事務局：増額の主な理由としては、他にも、水道事業会計において二日市配水池移設事業の予算が約 2 億円計上されているため、公営企業会計全体としての予算が増額となっている。

普通会計においては、退職給付引当金は予算に計上されず、財政健全化法に基づく将来負担比率の中で、考慮されることとなっている。

9 その他

(次回以降の委員会は、7月、8月、10月、11月に開催予定)

・その他の意見等

委員：先日の神戸新聞に、兵庫県下のキャラクター総選挙の記事が写真付きで掲載されていたが、新温泉町のキャラクターはエントリーされていなかった。役場が申し込まなかったのか、それとも観光、商工団体が申し込まなかったのかは分からないが、何故、これらを活用して町をPRしないのか。

委員：商工会にもキャラクターはあるが、これらを活用した町のPRについて、商工観光課とのコンタクトが薄いと感じる部分はある。

委員：多くの兵庫県民が目にするものであり、適切な対応をお願いしたい。

事務局：詳細については、担当課に確認する。

10 閉 会

副委員長：本日は、お忙しい中ご出席いただき、また、盛りだくさんの議事を慎重審議いただき、大変ありがとうございました。